

金沢動物園で2年連続受賞

エンリッチメント大賞 2021「奨励賞」を受賞しました

金沢動物園で行っている「オオツノヒツジの生態展示とその検証」が、市民ZOOネットワークが主催する「エンリッチメント大賞2021」(詳細裏面参照)において、奨励賞を受賞しました。金沢動物園では、昨年敢闘賞を受賞した「インドゾウに対するQOL向上の取り組み」に続き、2年連続の受賞となりました。



草地展示場のメス群れ



岩山展示場のオス群れへの給餌改善

下記の取り組みを実施し、大学との共同研究により結果を検証・改善しています

<ul style="list-style-type: none"> • 空きスペースを利用した雌雄の分離飼育 	<p>強いオスの子孫ばかりが増えてしまい、血統の管理が課題でした。雌雄を分けて飼育管理することにより、適切な血統管理と個体数維持が可能となりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 共同研究による嗜好性調査 	<p>大学との共同研究により、採食する植物の嗜好性を明らかにする調査を実施しました。今後は、草地管理に調査で得られた嗜好性を活用します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 雄群の給餌改善 	<p>採食時間が短いという課題があった雄群へ給餌内容や給餌回数の改善を行いました。動物福祉につなげるため、今後は自動給餌器の設置を検討中です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • PDCA (Plan, Do, Check, Action) サイクルにのっとった実施と評価 	<p>上記のような効果的な施策を行い、動物の生活の質が向上しました。</p>

審査委員コメント (抜粋)

シンプルな取り組みながら、既存の施設・条件の中でさまざまな工夫がなされ、他の施設・動物種でも大いに参考にできるものと考えます。草食動物の飼育においては難しい、生きた植物の利用と管理をエンリッチメントに組み込んだ工夫も評価されました。大学などの外部機関との継続的な連携もあり、奨励賞にふさわしい取り組みといえるでしょう。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

金沢動物園 園長 小國 徹 TEL045-783-9400

【参考資料】

1 市民 ZOO ネットワークとは

「動物園を通して人と動物の関係を考える」をテーマとして、動物園に関わる様々な人たちをつなぐ人的ネットワークの形成を進めるとともに、エンリッチメント大賞の企画運営、セミナーの開催等、動物園に関わる様々な活動を行う NPO 法人。

2 エンリッチメント大賞について

「動物園や水族館で取り組んでいる環境エンリッチメント（飼育動物の飼育環境を豊かにする取り組み）を正しく理解、評価することが動物たちの豊かな飼育環境づくりの最大の応援になる」との思いから、自薦、他薦を問わず公募され、一次審査、現地調査・ヒアリング、二次審査を経て、大賞、他各賞が選ばれます。

開始年（第 1 回）	平成 15 年
審査委員	外部有識者 5 名
2021 年応募数	29 件、35 通
後援	公益社団法人日本動物園水族館協会

3 金沢動物園のオオツノヒツジについて

飼育頭数：15 頭（オス 9 頭 メス 6 頭）

※オオツノヒツジの国内飼育は、金沢動物園の他に盛岡市動物公園 ZOOMO のみです。

4 金沢動物園について

◆入園料：一般 500 円、高校生・中人 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
（毎週土曜日高校生以下無料）

※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18 歳以上） 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日） 12/29～1/1

◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車

①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩 6 分

②急行「金沢動物園」行きバスで約 10 分（土・日・祝のみ）

◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>

◆住所：横浜市金沢区釜利谷東 5-15-1

◆問合せ先：045-783-9100